

大会要項

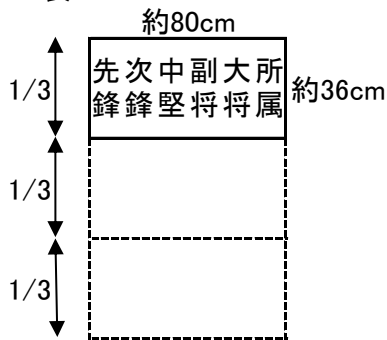
名称	令和6年度 第44回全国少年柔道団体選手権東部地区予選
目的	本大会は、翌年開催の静岡県少年柔道団体選手権に参加する 4チームを選考 するために開催します。
主催	静岡県柔道協会
協賛	静岡県少年柔道連絡協議会・静岡県東部柔道場連盟
日時	令和5年12月2日(土)午前9:50開会(9:30役員審判打合せ)※会場準備出来次第で早めます
会場	沼津市総合体育館 武道場 ※入館後、会場準備のお手伝いをお願いします。
申込	下記へメール。(郵送・持込の受付は行っておりません。)
	✂切り 令和5年11月4日(土)
	参加料 無料
	申込先 jimukyoku@toubujiudo.org
参加資格	1団体1チームとする。
	参加する選手は令和6年4月30日現在、小学5年生・6年生の男女とする。 ただし、5年生の補充として4年生をもって充てることができる。
	出場するチームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。また、選手はその団体から登録していること。
	静岡県柔道協会東部支部に加盟している道場
	参加チームの監督は、全日本柔道連盟に指導者登録をしている者がエントリー及び 帯同すること
	傷害保険に加入していること。(例:スポーツ安全保険等)
	保護者から本大会の参加承諾書を得ていること。(承諾書は各団体で保管)
チーム編成 抜粋	大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。 (要項下記参照)
	皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
	チームの編成は道場単位とする(混成チームは認められない)。
	1チームの人員は、監督1名選手5名補欠2名とする。 申込み後の変更はできない。
	選手の編成は先鋒・次鋒は5年生または4年生とし中堅・副将・大将は6年生、学年順に配列する。ただし、5年生の児童が6年生の児童の位置に出場することができる。また選手は学年順に配列し、同学年は「体重順」に配列すること。 (注)当日に欠員があり交代選手がない場合当該選手の場所を抜いて試合を行う。4年生は先鋒・次鋒のみとする。
	選手の変更は、申込書に記載された補欠からに限り行うことができる。この場合も、選手は各学年順に配列し同学年内は「体重順」に配列すること。補欠の補充はできない。
	各チーム初戦の選手変更及び、計量結果に伴う選手変更は、当日審判・監督者会議までに、会場受付に届け出ること。 ※ 補欠も必ず計量を行うこと。 ※ 計量は基本的にチーム単位で行い、女子はT シャツ・袴、男子は袴のみで行うこと。
2戦目以降の選手の変更については、直前の試合の開始前に審判長に届け出ること。試合が連続する場合は試合終了後直ちに届け出ること。	
一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。 別紙の選手配置上の注意点を参照のこと。	
審判規定	国際柔道連盟試合審判規程(2022-2024)および全日本柔道連盟「少年大会特別規程」。 本大会要項。本大会申し合わせ事項。
	試合時間は3分間とする。
	「優勢勝ち」の判定基準 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※ 得点差が無く、かつ「指導」差が1の場合は「引き分け」とする。 ※「僅差」とは双方の選手間に技による評価(技あり)がない。又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に、「指導」がない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

大会要項

競技方法	団体得点法、トーナメント法による。
	トーナメント表は執行部にて抽選し作成する 勝敗は勝ち点の合計による。勝ち点と同じ場合は勝ちの内容による。内容も同じ場合は1回の代表によって決する。
表彰	1位～3位までの4チームを表彰する。
	出場団体は 審判員を1～2名程度帯同する
	会場係として6名程度要請する。※不足の場合は帯同審判員から選出する
	コロナ・インフルエンザ等の感染拡大予防策として、体調の悪い選手及び監督・役員は参加を控えるよう各団体ご協力をお願いいたします。
	大会中事故・負傷等が発生した場合、応急処置は行うが、責任は負わない。
	参加選手は、背中にゼッケンを縫い付ける。※同姓の場合は区別がつくように。 (上段2/3に名字(姓)、下段1/3に所属、男子は黒色、女子は赤色。)
	各チームは、本大会様式の掲示用オーダー表を用意すること。(下記参照)
	会場内の撮影により人物が映り込む場合があり、それらは、インターネット配信やWEBなどに掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※本要項は令和5年度全国大会を参考にしており、令和6年度県及び全国大会において変更がある場合があります。

オーダー表



模造紙の長辺を1/3(横80cm×縦36cmくらい)にして
右から所属・大将～の順で名字を縦書き。

※模造紙の短辺が横になるよう1/3にして下さい。

脳震盪対応について

ジュニア(20歳未満)以下の選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

全国少年柔道大会静岡県予選会 選手配置上の注意点

※選手配置上の注意点

- ①A枠:先鋒・次鋒(4・5年生)、B枠:中堅・副将・大将(5・6年生)とし、「学年順」に配列し、同学年は「体重順」に配列すること。
(参加選手は令和6年4月30日現在、小学4・5・6年生の男女とする。)
- ②4年生はA枠のみに配置できる。
- ③5年生はA及びB枠に配置できるが、A枠に欠員がある場合はA枠に配置する。
- ④A枠、B枠ともそれぞれ後詰めに配列すること。
- ⑤大会受付時又は大会途中で負傷、疾病等で欠員があり、交代選手が無い場合は、選手の配列は変えず、当該選手の場所を抜いて試合を行う。
- ⑥選手変更は申込書に記載された補欠からに限り行うことができる。
この場合も、選手は各学年順に配列し、同学年は「体重順」に配列すること。
補欠の補充はできない。
- ⑦申込時に3人編成チーム又は4人編成チームは、申込後の追加補充選手は認めない。
- ⑧大会途中で選手が3人未満になったチームは棄権扱いとする。

5人編成チーム				
A		B		
先	次	中	副	大
5	5	6	6	6
5	5	5	6	6
5	5	5	5	6
5	5	5	5	5
4	5	6	6	6
4	5	5	6	6
4	5	5	5	6
4	5	5	5	5
4	4	6	6	6
4	4	5	6	6
4	4	5	5	6
4	4	5	5	5

4人編成チーム				
A		B		
先	次	中	副	大
-	5	6	6	6
-	4	6	6	6
5	5	-	6	6
5	5	-	5	6
5	5	-	5	5
4	5	-	6	6
4	5	-	5	6
4	5	-	5	5
4	4	-	6	6
4	4	-	5	6
4	4	-	5	5

3人編成チーム				
A		B		
先	次	中	副	大
-	-	6	6	6
-	5	-	6	6
-	4	-	6	6
5	5	-	-	6
5	5	-	-	5
4	5	-	-	6
4	5	-	-	5
4	4	-	-	6
4	4	-	-	5